



# 柔軟な発想をもって

## 羽幌町議会議長 橋本 修司

新年明けましておめでとございます。  
希望に満ちた新春をご家族お揃いで、お迎えのことと存じます。

町民の皆様には、平素から議会活動に対し格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、世界的な金融危機をきっかけに深刻な不況に見舞われている日本経済は、依然として低迷から脱却できず厳しい雇用情勢が続いております。

国外に目を向けますと、地球温暖化をはじめ環境破壊など世界規模で取り組まなければならない大きな課題が山積しているにもかかわらず、解決の方向を見出せない現状にあります。

このような情勢下にあつて、本町ではかねてからの懸案事項であつた特別養護老人ホーム「しあわせ荘」の第一期工事が完了し、ユニット棟と管理サービスク棟が完成しました。

羽幌神社例大祭では、本御輿が二年前ぶりに復活、新型インフルエンザの流行、ボランティア愛ランドの開催や、地域住民が待ち望んでいたドクターヘリが運航開始となりました。

基幹産業であります農業では、長雨から日照不足や低温障害により、主要作物である水稲の収量が伸び悩み、平年作を大幅に落ち込みました。漁業では、なまこが高値で推移しておりますが、主要魚種が安値のため販売取扱高に影響し農・漁家経営者にとって大変厳しい年でありました。

今年、農、漁業の生産額、販売取扱高がいずれも目標を達成し、地域経済発展の原動力となることを願っております。

商工業では、長引く景気の低迷により需要の回復を取り戻せずに終わった一年でありました。こうした現状を打開するため、町の産業、特産品などを町内外に情報提供し地域振興策に反映させる取り組みがされており、今後の進捗に期待をしております。

迎えた平成二十二年、全国的な景気の後退は、当町にとっても厳しい行財政運営を余儀なくされますが、行政、議会、住民が一体となって「知恵」を出し合い、従来の考えにとらわれない柔軟な発想をもって、将来に悔いを残さない町づくりと町の活

性化に取り組んで行かなければならない時であると考えております。

また、政権交代で、町財源の根幹をなす地方交付税の行方は不透明であります。町経済の底上げや景気の回復など生活の安定や安心した暮らしができるよう本格的な対策を講じてほしいものであり、議会としても動向を注視し、点検して参りたいと存じます。

いずれにいたしましても大変厳しい情勢ではありますが、多くの課題解決のため、行政と連携をとり、町民皆様の生活の安定と福祉の向上に努力して参る所存であります。今年が皆様にとりまして、健やかで、幸多き年でありませう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。